



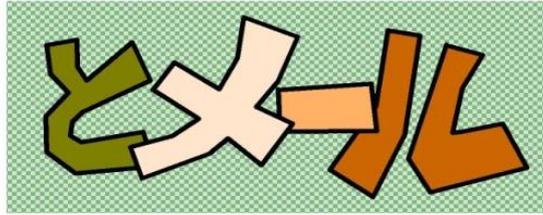
75歳医療費窓口負担2倍化ストップ!!活動推進コース

発行団体

- 全日本年金者組合中央本部
- 中央社会保障推進協議会
- 全国保険医団体連合会事務局
- 日本高齢期運動連絡会

東京都中野区中央5-48-5 シャン
ポール中野504
☎ 03-3384-6654

2022年4月29日発行No12



「コロナ禍の中、高齢者にさらなる負担増をかけ、受診抑制につながる75歳医療費窓口負担2割化10月実施は中止してください」の緊急団体署名を各加盟組織、地域から、あらゆる結びつきを生かし集めよう

75歳2倍化中止へ 国会議員要請を強めよう

75歳医療費窓口負担2倍化中止へ、国会終盤に向け、地元国会議員をはじめとした国会議員への要請行動を強め、「10月実施中止」を求める団体署名をあらゆる結びつきを広げて大きく推進させましょう。

4月21日の署名提出国会行動日に、日本高齢期運動連絡会、保団連、社保協で、共産党の宮本徹衆議院議員に要請、懇談。同日、保団連は、住江会長ら、立憲民主党の馬淵澄夫衆議院議員・国対委員長、斎藤アレックス衆議院議員と懇談。引き続き、立憲民主党をはじめ野党の国会議員との要請・懇談を強め、中止法案の提案や国会での質疑などを求めていくことが重要です。4月28日には、立憲民主党の中島克仁衆議院議員、吉田統彦議員に要請、懇談を行いました。



また、保団連は、立憲民主党厚労部会、連合の佐保総合政策推進局長とも懇談しています。(写真は、立憲民主党・中島克人衆議院議員との懇談)

◆後期高齢者医療制度保険料

R4.5年度保険料全国平均一人当たり6472円(国保新聞4月10日付け参照)

1人当たり保険料は、40広域連合で増加、7広域連合で減少。

制度創設時(平成20・21年度)の保険料5283円と比べ、20.3%増になっています。

「ほっかいどうの社会保障」(北海道社保協ニュース) より

今年10月からの75歳以上の医療費一部負担金2倍化やめて！

北海道道社保協・民医連・年金者組合など 道内政党に要請

北海道では、15万3千人が2割負担の対象です。改悪内容を知った高齢者から不安や怒りの声が広がり、2割化中止を求める署名は北海道内で4万筆以上集まっています。

道社保協、道民医連、年金者組合道本部、道高齢期運動連絡会は、4月、道内主要政党に、「コロナ禍の中、高齢者にさらなる負担増をかけ、受診抑制につながる75歳以上の医療費窓口負担2割化の10月実施は中止してください」と、要請書を送付し懇談を申し入れました。

高齢者は医療費大変 立憲野党は賛同

立憲民主党、日本維新の会、日本共産党、社会民主党は、懇談に応じてくれました。各事務所を訪問し、高齢者の実態と改悪内容、受診抑制など改悪の影響を伝え、「75歳以上医療費窓口負担2割化を中止する法案を提出し、成立させること」を要請しました(4月25, 28日)。年金者組合の代表は、「年金も下がり、物価も上がっています。夫婦とも大きな病気で療養中、今でも医療費負担は大変です」と訴えました。

立憲民主党、日本共産党、社会民主党は、要請趣旨に賛同し、中央本部に伝えると回答しました。日本共産党の畠山和也さん(元衆議院議員)は、「75歳以上の高齢者医療制度ができた当初から、年齢で差別する制度で、受診抑制や医療費負担が増えると訴えてきましたが、現実になっています。命優先の政治へ、社会保障を良くしていきましょう」と答えました。

コロナと物価高の中負担増やめよ 国の責任で社会保障の充実を！ 4/25新宿東口アルタ前宣伝行動 汗ばむ陽ざしの中15団体60人

4月25日、26度を越える夏のような陽ざしの中、全国一斉宣伝行動日に結集して、新宿駅東口アルタ前に全日本教職員組合の大型宣伝カーをつけ、15団体60人が参加して、宣伝を行いました。

75歳以上の窓口負担2倍化中止・医師、看護師、医療技術職員、介護職員等の増員と待遇改善・公立、公的病院の切り捨て反対・保健所の増設・年金引き下げ中止などを訴えました。

